

1. 目的と位置づけ

湖北駅南側の湖北台地区には、昭和40年代前半に進められた住宅地開発とほぼ同時期に整備した東消防署湖北分署（以下「湖北分署」という。）や湖北台行政サービスセンター、湖北台市民センター、市民図書館湖北台分館（以下「湖北地区図書館」という。）などの公共施設が立地しています。いずれの施設も老朽化が進んでおり、修繕や建替えの必要が生じています。

本整備方針は、こうした湖北台地区における公共施設の老朽化に伴う整備に向け、これまで実施してきた市政ふれあい懇談会をはじめ、湖北台自治会連合会、近隣自治会、整備地区の地権者及び近隣住民、湖北台地区社会福祉協議会、湖北台保育園の保護者会等との意見交換会でいただいた意見を踏まえながら、市の基本的な考え方を明らかにしたものです。

2. これまでの検討経緯

昭和40～50年代 湖北台地区の公共施設が竣工

平成17年8月 湖北地区での図書館の整備の検討を始める

平成21年3月 市教育委員会で「湖北地区図書館基本計画」を策定

平成21年7月 中里地区に図書館用地の一部を取得

～湖北台地区の公共施設が35年以上経過し、老朽化が進む～



限りある財源を効率的かつ効果的に活用するため、湖北地区での図書館整備にあたっては、複合化を視野に庁内関係課で検討を開始

■複合化対象施設：湖北地区図書館、湖北分署、行政サービスセンター、市民センター（会議室、社会福祉協議会事務室）

●平成22年10月 湖北地区図書館関係部署会議を開催

複合化を視野に入れた施設整備について検討。

湖北台行政サービスセンターと湖北分署は、老朽化への対応も含めて検討。

湖北台市民センターは廃止し、利用希望の多い会議室と湖北台地区社会福祉協議会の事務室は確保。